

〈資料〉NBC災害時の消防団活動

災害時において、消防団は消防本部より先に災害現場に到着し、初動対応をすることもあります。

危険物や毒・危険物などの災害によっては、消防本部が到着するまでの間、立入禁止区域や消防警戒区域などを設定し、地域住民を避難させるとともに、安全な区域において消防団が保有する装備及び資機材等に応じた活動を行う必要があります。

1 概要 (NBC災害とは)

NBC災害とは

Nuclear (核)	放射性物質等に係る災害 ①原子力施設や放射性同位元素取扱施設、放射性物質の輸送時における火災、漏えい ②放射性物質と爆薬を組み合わせた爆弾による意図的災害
Biological (生物剤)	感染症の病原体に係る災害、生物剤に係る災害 ①病原体を取り扱う研究施設等における火災、漏えい ②炭疽菌等の生物剤による意図的災害
Chemical (化学剤)	毒物又は有害性を有する物質等に係る災害 ①毒物・劇物を取り扱う工場・研究施設等、輸送車両等における火災、漏えい ②化学物質の混触による有毒ガスの発生 ③サリン等の化学兵器を用いた意図的災害

2 NBC災害の特徴

Nuclear (核)	目に見えず外部被ばくや内部被ばくを受けてもほとんど自覚症状がなく安易に行動すると二次災害を引き起こす。
Biological (生物剤)	病原体は目に見えず、無臭のため探知が困難である。
Chemical (化学剤)	サリン等による意図的災害から硫化水素、塩素、一酸化炭素など家庭環境で発生する災害が想定される。

3 消防団活動時の留意点

- ①消防団活動は、消防団員の二次災害防止^{*1}及び住民の安全を確保しながら行うとともに、その活動方針は、指揮者を通じて全消防団員に周知徹底する。
- ②危険な区域は、災害種別に応じた装備、資機材を着装した常設消防に任せて近づかない。
- ③風上など危険性の少ない安全な場所で情報収集を行い、到着した常設消防に情報提供する。^{*2}
- ④常設消防と連携し、消防警戒区域^{*3}を設定し、監視警戒を行う。

^{*1} 二次災害として、被害の拡大(有毒ガスの拡大)、汚染の拡大(被災者や被災者の衣服からの汚染拡大)、受傷事故(有毒物質による受傷)がある。

^{*2} 五感を活用(臭気、皮膚感覚、色等)、関係者から臭い、痛み、目撃情報、気分等をできる限り情報収集する。

^{*3} 消防活動等を十分に行うため一定の者以外の者の立入等を禁止又は制限する必要のある区域をいい、当該区域の設定はロープ等により明示する区域。